11月3日 文化の日

広報 うらにし 11月号

第　１４２号
2014　11月1日
発行：浦西自治会
編集：自治会広報部

・国際交流　11月2日（日）

文化展の一環で、公民館でJICA研修生を招いて交流会をもった。7か国から8名が来て国の実状を説明してもらった。世界の広いこと、人種風俗の違いも実感することが出来た。パラオ・フィジー、スリナム等の海を観光資源としている国々の研修生に、沖縄の海とどちらがキレイ？との質問に、沖縄の海も素晴らしいが、世界一は自国の海だと胸を張って言い切った。どうやら世界一は沢山あるようだ。また、アンティグーア・バーブーダというカリブ海に浮かぶ人口8万人の国の存在にもびっくり。敬虔なイスラム教徒のアフガニスタン人は交流会の途中で会議室に移り祈りを捧げた。アルコールも飲まず食べ物も一つ一つ、豚肉が混ざってないか確認していた。平均寿命が48歳の理由は戦争とのこと、厳しい国がある。やはり、大切なのは平和だ！【宜野座】

・後期班長名簿

後期は運動会が担当行事となります。
宜しくお願い致します。

1	下　野　茂	16	安　室　二三男
2	仲　村　和雄	17	上　原　誠四郎
3	小　嶺　善則	18	宜野座　富夫
4	伊　佐　和廣	19	赤　嶺　成勇
5	高　良　茂	20	川　上　吉男
6	上江洲　卓	21	諸見里　英世
7	山　内　和雄	22	前　森　篤
8	大　嶺　良則	23	與那嶺　百合子
9	池　宮　勇	24	上　間　秀三
10	砂　川　好彦	25	崎　浜　秀吉
11	照喜納　薫	26	下　地　功
12	平　良　真孝	27	幸　地　良信
13	棚　原　清信	28	松　本　行雄
14	下　地　裕之	29	金　城　清治
15	立　津　米三		

・A棟評議委員の交代（10月より）

A32の諸見元次さんに代わりA48の高良政幸さんが引き継ぐことになりました。
諸見さんご苦労様でした。

行政区住民登録人口(10月末)

世帯数　661　総人口　1802
自治会加入 404 加入率 61％

定期清掃（第3日曜日）
リサイクル活動（同上）

///// 11月行事 ///////

1～2日　文化展
3日　班長会
9日　運動会
　　牧港川清掃
11日　浦西中校区GG
18日　要援護者支援会議

12月11日
　ゆいゆいフェスタ
12月21日（日）
　定期清掃の日
　防災訓練を実施します。
　詳細は後日

＊第１０回歌碑巡り（石垣島・西表島） 18日～19日　一泊二日の充実の旅でした！

	参加者氏名　夫婦6組　親子2組　総勢35名			
1	宜野座　富夫	徳　山　勇	平　田　清喜	福　嶺　栄子
2	宜野座　久美子	徳　山　良子	仲　原　勇	高　良　英子
3	喜　納　千枝子	豊　里　勝一	具志堅　強志	伊　佐　光枝
4	米　蔵　敏之	豊　里　ハル	宮　城　奈美子	渡嘉敷　勝子
5	平　識　善貞	山　里　早子	古　堅　亜紀子	多嘉良　光子
6	平　識　豊子	山　里　祐子	友　利　利和子	
7	友　利　斉	外　間　光男	古　堅　恵子	
8	友　利　悦子	冨　里　ミツ	与那原　慧	
9	富　山　秀世	崎　浜　秀直	仲　村　朝子	
10	富　山　順子	山入端　實	瀬　長　美佐江	

＊鑑賞歌碑
デンサー節
鷺の鳥
とぅばらーま
赤馬節

＊ハプニングの連続
①石垣空港に迎えのバスが来ない
　→タクシーで石垣港へ
②石垣港～上原港の船が欠航
　→大原港へ変更
③由布島の昼食で幕内弁当に大量の蟻
④西表～石垣への船が満席で乗船不可
　→乗船客数名を降ろして対応
⑤野底岳への林道の木々が進路を阻む
　皆で木々を押し曲げバスを通す
⑥帰り航空機の搭乗券紛失（2件）

デンサー節の碑（西表）

デンサー節の碑を訪れた浦西自治会員＝18日、竹富町西表島の

浦西自治会35人 八重山歌碑巡り

歴史・民話を学ぶ

【浦西】浦西自治会（宜野座富夫会長）のメンバー35人が18、19の両日、石垣島と西表島の歌碑を訪ねた。歌碑巡りツアーは、ことしで10回目。

米蔵敏之さんら石垣出身の自治会員のほか、平識善貞、豊里さん夫妻、友利斉、悦子さん夫妻、仲村清、母子さん夫妻、山田早子、牧子さん夫妻、山里早子、牧子さんが参加。デンサー節の碑や、トゥバラーマの碑、鷺の鳥の碑を見学した。

西表島の「赤馬節の碑」では、徳の里子・喜納政成夫妻を務めた竹富町の平田一雄さんが案内役となり、軍命でマラリア有病地に強制疎開させられ、相次ぐ病死に見舞われた波照間住民の厳寒を語った。

一行は、標高282㍍の野底岳にも登頂。石垣島に強制移住させられた女性マラリアが、婚約者の住む黒島を見ようと登って石になってしまったという民話を思い出しながら、参加者最高齢の崎浜秀直さん（87）も頂上に立った。

最終回にふさわしく天気にも恵まれ35名の参加で大いに盛り上がりました。
歌碑はもとより八重山の主だった観光地も巡り、正に石垣・西表島制覇の達成感あり。
圧巻は野底岳登山で30名が頂上に立ち360度の絶景を堪能しました。心身ともにリフレッシュの旅でした。

野底岳頂上(282m)

由布島（西表）

忘勿石（西表）

■自治会対抗陸上競技大会　10月4日～5日　男子2位　女子3位　総合2位　来年は優勝しか無い！

昨年、総合3位（男子：3位　女子：4位）から着実に一歩前進の2位に上ってきました。平良修体育部長の下で皆が協力した結果です。応援団も多数駆けつけて、熱い声援を送りました。グラウンドもテントも熱気ムンムンで皆の力が結集し素晴らしい実績につながりました。

30代100m	国吉真平
走幅跳	渡口昌
円盤投	岸本修一
年齢別リレー	国吉・宮坂・平良・宜野座

堂々の1位でした！

来年こそは10連覇中の西原1区・2区連合を追い越そう！
関係者の皆様、お疲れ様でした。

・にしばる保育園との交流　10月22日（水）

生きいきデイサービスの日に保育園の園児23名が園長・保母さんに伴われて訪れ可愛らしいエイサーを披露しました。最初は緊張していたものの時間とともに慣れて抱っこされたり、ひ孫状態。高齢者も昔を思い出し終始笑顔。「元気をもらった」と大喜び。誕生会などで定期的に交流することが決まった。いいね！

・生き生きデイサービス

ピクニック　10月8日
「艦砲ぬ喰ぇぬくさー」の碑
かまぼこ「寿味屋」
ゆんたく市場
沖縄ハム工場見学
＊食べ歩き・買い物が主で、
　楽しんでいますよ！

・『ネパール便り　世界の秘境・ヒマール～』　E-53 坂本氏　　ナマスカール（ナマステーの尊敬語）

ネパール語で女性のことを「マヒラ」と言います。バス席でドア近くにマヒラという字が書いてあると女性優先席のことです。今回はマヒラの服装について紹介します。インドやネパールの女性の服装と言えば多くの方が「サリー」を頭に浮かべ、艶やかな色に髪をなびかせて歩いている姿を思い浮かべると思います。サリーの服装ですが、町を歩いているとサリーを着ている人を見かけることはありますが、ほとんど年配の方が多いように思えます。若い女性達のサリー姿はあまり見かけません。一昔前まではほとんどの女性はサリーを着ていたそうですが、サリーが衰退しているとのことです。このサリーですが、私の出勤途中にサリーを制作している所があり話すことが出来ました。1着のサリーを作るのに2人で平均して2週間はかかるそうです。こまめに刺繍をしていました。サリーに替わって登場したのが「クルタ・スルワール」や「ジーンズ」姿が多く見かけるようになりました。クルタ（短縮して呼びます）にはスカート的なものやダブダブのズボンがありますが、サリーに比べて肌が見えず、着心地よいとのことです。又、時代の流れでしょうか、ジーンズ姿が見かけられます。サリーやクルタ以外に民族衣装を着た人達も多く見られます。私の大家さんはグルン族でグルン語を話しています。グルン族の正装はサリーとは異なり、とても落ち着いた色と清楚な感じがします。グルン族は西部の山岳出身で、その正装を見ると民族が生活していた場所の気候・風土を考えさせられます。

＊リサイクル収益金
10月末実績
194,747円

毎月第3日曜日

収益金は自治会活動費として有効に活用されています。今後とも、新聞、段ボール、アルミ缶などの提供にご協力をお願いします。
＊アルミ缶はつぶして出して頂けると助かります。

・モノレール駅名のゆくえ　10月22日（水）意見交換会

市の都市計画課の呼びかけで、駅名の意見交換会が開催された。経塚、前田、浦西の仮称のつく自治会に対しての説明が主だった。市としては県内外・国外も意識した名称を検討しており、経塚は国際センター前駅、前田は浦添ぐすく駅、浦西は浦添てだこ駅と名付けたいとのこと。勿論、仮称駅の自治会は猛反発、応募総数900票の最高得点をマークした浦西は浦西中を含め地域に定着した名称は譲れないと抗議しています。11月中に地域住民との意見交換を終えて決定する模様。地域として大声で「浦西駅」を主張していきましょう。